

## 弔 辞

理事、谷口篤造氏には平成9年12月9日急逝されました、享年77歳でありました。

谷口理事は、当研究所生みの親ともいべき元理事 故谷口三樹三郎氏の御長男で、御巖父の亡きあとをつぎ、13年にわたって研究所を温かく見守って下さっていました。研究所の今日あるのは、ひとえに創立者 故石橋雅義先生と(株)兼松商店社長 故谷口三樹三郎氏の肝胆相照らす親交と、谷口家父子



二代にわたる兼松商店、兼松江商への貢献と、その科学研究に対する深い理解と  
いった積善の賜に他なりません。

たまたま谷口理事には、平成6年8月研究所が主催したテレケミストリー国際フォーラム(学士会館)に出席下さり、熱心に聴講下さったうえ代表挨拶として時宜に適したお話を流暢に頂戴しました。また一昨年8月には研究所が創立50周年を記念して講演会(京都会館) 祝賀会(都ホテル)を開催した折も御来洛下さって丁重な祝辞と御示唆を頂いたことであります。これらがつい先日の事のように思い出され急の御逝去が残念でなりません。

御教示を生かし研究所の一層の発展を期することをもって弔辞に代えさせていただきます。心から御冥福を祈ります。合掌。

### 御 略 歴

昭和17年 東京商科大学(現一橋大学)卒業、直ちに(株)兼松商店(現兼松江商)入店、さらに終戦まで3年間軍務に服す。陸軍主経中尉。

昭和20年 兼松大阪支店に復帰。

昭和27年 兼松ニューヨーク(株)勤務。

昭和32年 帰朝、大阪支店。

昭和37年 南ア、ヨハネスブルグ事務所長。

昭和39年 帰朝、東京支社。

昭和44年 取締役就任、昭和48年代表取締役常務機械電子統轄本部長、昭和53年副社長、昭和55年副会長。

昭和57年 同相談役、日本オフィス・システム(株)取締役会長。

昭和60年 兼松江商相談役退任、名誉顧問。

昭和63年 日本オフィス・システム会長退任、顧問。

この間、日本貿易会、経団連、日本繊維製品輸出、日本機械輸出、日本船舶輸出、日本鉄道車輛輸出等の組合、役員、委員を歴任した他日本・ユーゴスラビア経済委員会顧問、同協会常任理事であった。また、昭和55年にはセネガル共和国国家獅子勲章を受賞しておられます。